

オマール、最後の選択

一般公開前の上映—「パラダイス・ナウ」のハニ・アブ・アサド監督による衝撃作

自爆攻撃へ向かう若者たちを描き、2006年ゴールデングローブ賞外国語映画賞を受賞、2006年アカデミー賞外国語部門にノミネートされた『パラダイス・ナウ』のハニ・アブ・アサド監督による本作は、占領下のパレスチナに暮らす若者たちの一筋縄ではいかない友情や恋、そして、死んで英雄になるか、裏切り者として生きるのかという究極の選択を迫られ苦悩する青年オマールの状況を、切実に、サスペンスフルに描いた作品です。製作にかかわったのは全てパレスチナ人、撮影も全てパレスチナで行われ、出演者のほとんどが映画出演経験のない新人でした。本作は第86回アカデミー賞外国語部門にノミネートされ、第66回カンヌ国際映画祭ある視点部門審査員賞を受賞しました。

時間

5/23(土)

第1回 第2回

11:00- 16:30-

*上映時間(1時間39分)を含めた約2時間のプログラムを予定。

料金

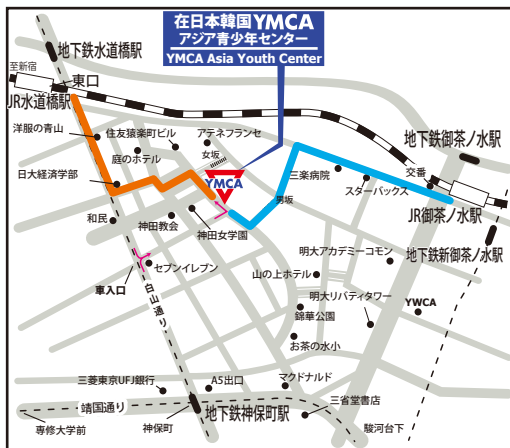
一般：前売り 1200 円 (当日 1500 円)

学生：前売り 800 円 (当日 1000 円)

会場

在日本韓国YMCAスペースY (地下)
東京都千代田区猿楽町 2-5-5

JR水道橋駅徒歩5分 JR御茶ノ水駅徒歩8分 地下鉄神保町駅徒歩7分



お問い合わせ

前売り券はYMCA 1階フロント、3階事務室で直接ご購入いただくか、お電話・FAX・メールでご予約ください。

TEL 03-3233-0611 FAX 03-3233-0633 メール : ayc@ymcajapan.org (担当：たづけ)

オリーブ平和映画祭とは

パレスチナの東エルサレムYMCAと交流を進めている在日本韓国YMCAが、パレスチナに暮らす人々の現状に触れ、理解を深め、共感の場を広げたいという思いから、毎年東京センテニアルYサービスクラブと共催で実施する映画祭です。

会場ではベイトサフルYMCA(ベツレヘム：パレスチナ自治区)で製作されたオリーブクラフトの販売、フェアトレードのオリーブオイル・オリーブ石鹸の販売も行います。

本映画祭の収益金は、東エルサレムYMCAとの交流活動、現地におけるプログラム支援のために用いられます。



ストーリー

オマールは、監視塔からの銃弾を避けながら分離壁をよじのぼっては、壁の向こう側に住む恋人ナディアのもとに通っていた。壁のこちら側では思慮深く真面目なパン職人のオマールは、壁の向こう側では仲間と共に自由の闘士となる。ある日、イスラエル兵士を殺害した疑いで捕えられたオマールは、イスラエル軍より拷問を受け、死ぬかスパイになるかの選択を迫られる。幼馴染のアムジャドとタレクとの友情、そしてナディアとの関係さえも壊され、心の拠りどころをすべて失ったオマールが最後に選択した行動とは…。



監督・脚本・製作：ハニ・アブ・アサド / 撮影：エハブ・アッサル / 編集：マーティン・ブリンクラー、イヤス・サルマン / 出演 アダム・バクリ、ワリード・ズエイター、リーム・リューバニ、サメール・ビシャラット、エヤド・ホーラーニほか

2013年 / パレスチナ / 97分 / アラビア語・ヘブライ語 / カラー / ドルビーデジタル SRD 5.1 / スコープサイズ / DCP

前売り券は在日本韓国YMCAにて販売中。

1200円 (学生 800円)

本映画祭の収益金は、東エルサレム YMCA との交流活動、現地におけるプログラム支援のために用いられます。